

令和6年度 梶の木保育園自己評価

1. 評価基準日 令和6年9月30日(月)
2. 対象者 保育士(11名)
3. 評価方法 年度ごとに保育士が自己評価チェックシートに基づき各自、自己評価を実施。評価を基に事務局長面談を行い、年間の成長と課題、次年度の目標について確認する。その後職員会議にて事務局長より総合評価について説明する。
4. 評価項目 保育環境、保育内容、子ども・保護者への関わり方等について評価項目を設定。
5. 評価基準 ①よくできた ②できた ③あまりできなかった
④まったくできなかった

	①	②	③	④
1. あなたは、梶の木保育園の保育方針を理解していますか。	4	7		
2. あなたは、毎日、保育室の安全確認を行っていますか。	4	6	1	
3. あなたは、地震や火災等の非常事態が発生した場合に、どのように対応するか理解していますか。	1	9	1	
4. あなたは、自分自身の心身の健康に留意し、常に安定した状態で保育に取り組んでいますか。	3	7	1	
5. あなたは、子どもひとり一人の個性や発達段階に応じた保育に取り組んでいますか。	4	7		
6. あなたは、保護者に積極的に話しかけ、悩みや相談事を話していただけるよう信頼関係の構築に努めていますか。	2	4	4	
7. あなたは、自分の保育を振り返り、課題確認や改善への取り組みを継続的に行っていますか。	3	7	1	
8. あなたは、子どもやその家庭の情報を他に漏らすことがないよう努めていますか。	9	2		
9. あなたは、子どもの保育の状況を記録するとともに職員間で共有していますか。また、保育記録を毎日の保育に活かしていますか。	2	5	3	
10. あなたは、園長からの指示や職員からの意見に耳を傾け、常に意思疎通を図るよう努めていますか。	4	6	1	

【園長評価】

「保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない」と保育指針に明記されています。

これに基づき梶の木保育園では、保育の質の向上を図るため保育士自己評価を実施しました。

梶の木保育園は小規模保育園の認可を受けて10年目となり、昨年に引き続き一層、保育士一人ひとりが自信を持ち、保育の現場を安心安全に配慮して行動をしています。小規模保育園ならではの保育を追求し、今後の在り方を真剣に考えていく必要があります。そのためには、自己評価を実施し課題を見つけ話し合い、改善していくことで保育の専門性、組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がより良く深まるように努めてまいります。

【事務局長評価】

概ね適切に実践されていると評価できる。

①よくできた ②できた については各保育士の捉え方により選択が分かれるところであり評価が難しい面もあるが、自信を持って①よくできた と自己評価できるよう園全体としての取り組みの充実が必要である。とりわけ1.保育方針や3.災害等非常時対応は全ての保育士が ①よくできた と自己評価できるよう組織全体としての取り組みが求められるところである。

個人情報管理については高い自己評価結果となっており、高度な個人情報を取り扱う業態としての意識が浸透していることを示すものである。

一方で保護者との信頼関係構築についての自己評価が低い結果となっていることの原因がどこにあるのかを明確するとともに、に園としての対応策を考えて行く必要がある。

【今後に向けて】

今回の自己評価結果を職員間で共有し、個々人の資質向上だけでなく、組織全体のレベルアップを図るためOJT、off-JT、自己啓発を計画的、継続的に実施していくことが必要である。